

# Architects' style

建築士 こおりやま

No.70 令和7年3月発行

## 支部長挨拶

福島県建築士会郡山支部 支部長 蔭山 寿一

この度の第74回通常総会において支部長の任を賜りました蔭山寿一です。大役を仰せつかり、緊張を覚えながらも、皆さんと一緒に活動することに大きな喜びと気持ちの張りを感じております。歴史と伝統のある建築士会郡山支部の支部長の名に恥じぬよう、支部並びに会員の皆様のお役に立てるよう微力の限りを尽くしてお答えしてゆく覚悟です。私などは歴代支部長には及びませんが、精いっぱい努めてまいりますのでどうかよろしくお願いいたします。



今、私ども建築士会には大きな課題が二つあります。一つは会員の減少であります。郡山支部でも一時期は400名を超えていた会員が現在は237名と大きな減少となっております。会員の減少は活動力の低下につながってゆきます。そしてもう一つは会員の減少に伴う会費収入の減収であります。資金力の不足もまた活動力の低下につながってまいります。どちらも待ったなしの課題となっております。

私は、これらの問題を解決してゆくために、この歴史と伝統のある郡山支部の活動を今まで以上に活性化し素晴らしいものにしてゆくべく、歴代支部長が努力されてきたように建築士の認知度の向上に努めてゆかなければならないと考えます。これは一朝一夕でなされるものではありませんが、会員の皆さんと共に知恵を出し合い汗をかき建築士の露出度を高め、一人でも多くの方に建築士とは何かを知っていただきたいと考えます。そしてまた、一人でも多くの建築士に建築士会の活動の意義、楽しさを知っていただき、共に活動していただけるよう入会を促進してまいりたいと存じます。

新しい建築士会の活動、新しい仲間との協調を皆さんと創造してゆくために、会員皆さまの益々のご支援ご協力をお願いし就任のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。



支部研修旅行 ～鹿児島にて～

# 令和6・7年度 郡山支部 役員・委員会 組織表

- 支部長 蔭山 寿一（本部理事）
- 副支部長 宗像 正浩（本部理事）・幕田 宙晃（本部理事）・阿部 治江（本部女性委員会）
- 会計理事 渡邊 平（本部総務委員会）
- 直前支部長 高橋 孝行
- 監事 島田マリ子・大場 俊之
- 顧問 松隈 仁吉・古川 弘・堀井 勝典

■総務・企画委員会 担当 副支部長 幕田 宙晃			■会員拡大・交流委員会 担当 副支部長 宗像 正浩		
委員長	星 芳道		委員長	立田 尚幸 (本部会員広報講習委員会)	
副委員長	田母神一吉	江口 夏希	副委員長	金田 岩光	坪井 道子
委員 (理事)	宗像 恭一	佐藤 政弘	委員 (理事)	遠藤 隆	酒井 直樹
	佐藤 栄	光本 明充		松谷 忠	清 利幸
				水上 剛	添野 祐平
※理事役員以外の一般会員は会員拡大・交流委員会に所属					
■講習・まちづくり委員会 担当 副支部長 宗像 正浩			■情報・広報委員会 担当 副支部長 阿部 治江		
委員長	今泉健太郎		委員長	今泉 雄二	
副委員長	帆刈 大輔	土屋 彩子	副委員長	鈴木 順子	村越のぞみ
委員 (理事)	宗像智加枝	藤村 圭城	委員 (理事)	伊藤登志夫	酒巻 正弥
	菅野 哲司	鈴木 利衛		影山 慎一	川田 貴裕
	高橋 祐樹	大場 喬人		篠崎 まな	
■青年委員会 担当 副支部長 幕田 宙晃			■女性委員会 担当 副支部長 阿部 治江		
委員長	帆刈 大輔 (本部青年委員会)		委員長	村越のぞみ (本部女性委員会)	
副委員長	清 利幸	水上 剛	副委員長	江口 夏希	篠崎 まな
委員 (理事)	金田 岩光	松谷 忠	委員 (理事)	宗像智加枝	鈴木 順子
	坪井 道子	村越のぞみ		坪井 道子	土屋 彩子
	影山 慎一	土屋 彩子			
	菅野 哲司	江口 夏希			
	添野 祐平	鈴木 利衛			
	高橋 祐樹	川田 貴裕			
	大場 喬人	篠崎 まな			
※女性の一般会員は女性委員会に所属					

## 第70号発行記念 歴代広報委員長紹介(敬称略)



### 初代委員長(平成10年度～平成17年度) 松隈夕工子

初代委員長は8年に渡り松隈夕工子さんが務められ、現在の『建築士 こおりやま』の礎を築いて下さいました。



### 第2代委員長(平成18年度～平成19年度) 齋藤いち子

『建築士 こおりやま』第70号の発行、おめでとうございます。この間に私が広報委員長を務めた時期もありましたが、古すぎてほとんど記憶にありません。当時の広報誌も見当たらず、何も思い出せず困りました。

なにか印象に残っているものはないかと思い巡らすと、街中の銭湯シリーズの記事が頭に浮かびました。当時から消えつつあった街中の銭湯を取材したもので、もう一度読んでみたくになりました。これは私の前任者時代のもので、この方の後にやるのかとプレッシャーを感じました。次の方に交代したときにホッと全て忘れてしまったのかもしれませんが。

その他に当時記憶に残る人はいたかなと考えたら、ある方を思い出しました。原稿を依頼するためにその人の事務所を訪ねました。わざわざ訪問したのは、たぶん私にとって気を遣う方だからです。普段は気難しそうな顔で堅い話を一方的にしてくる印象がありました。お伺いすると、ニコニコ優しい顔で楽しそうに話をしてくれました。時に涙ぐんだりしながら。このギャップは何だろう。私の訪問をそんなに喜んでくれたのか。原稿も期限内にいただきました。その時から印象が変わりました。もう会えないのが残念です。

昔を懐かしむのは老化している証ですが、他の方にもそれぞれ記憶に残る記事があるかもしれません。そういうものの特集や小さなコーナーなどで見れたらうれしいなと思いますが、既にやっているかもしれませんね。



### 第3代委員長(平成20年度～平成27年度) 水上 朗

広報委員だった頃のお詫びと反省文

『建築士 こおりやま』は郡山のほんの一抹の人間達で構成された福島県建築士会郡山支部の会員に向けた、緊急性と必要性に乏しく、きわめて迎合性の高い冊子であったことには違いない。(もちろん、今は違う)

影響力を数値化すると、会員数236名は郡山市人口327,692人(2023年10月1日現在)の0.072%を占め、限りなく0に近い値に収束される値である。

しかし重要なのは、決して無ではなく有として存在する事実。

そんな数字を頭に入れて「広報誌の影響力はさほどでもないだろう」との独善的短絡思考回路は、世間の風を気にすることなく、好きな言葉を並べたて、誰の批判の言葉を受け容れることなく、お天道様に背を向けて陽の当たらない裏街道を背中丸めながら、好き勝手な文言を広報誌に書き込み続け、

でも時々はずぶやいていた。

♪何でもやります。ぜいたくは言いません。頭を下げ、詫びを入れ  
すぎる気持ちで仕事をもらい、今度こそまじめにやるんだ♪

いい加減な気持ちと身勝手に胡散臭い態度は今もかわることなく、皆様にご迷惑をお掛けしつつ、溢れんばかりのお情けと身に余る程の優しさに甘えながら8年間もの長きにわたり広報委員長を務めさせていただきました。

広報委員は、私にとって「好き放題文字を並べられた」とっても楽しい時間でした。

今回の広報誌の一枠をお借りして、傍若無人な編集を続けた長年の罪と罰をこの場にて、深く深くお詫びして反省の言葉に代えさせていただきます。

誠に申し訳ありませんでした。そして、ありがとうございました。

ベクトルの乱飛行に、この場をお借りしての言い訳です。



#### 第4代委員長（平成28年度～令和元年度）立田 尚幸

何故？あいつが情報・広報委員長になったのだろうと、会員のみならず立田本人が一番驚いたのを思い出しました。前々から出では消えたホームページの開設を国際アート&デザインの生徒様の卒業制作の課題として制作して頂き、開設する事が出来ました。広報誌関係はプロフェッショナルな村越さんに編集長をお願いし、おでん屋一平での編集会議と称する酒飲みにて意見を交わしながら委員会活動をしたのが思い出されます。そして

平成31年より広報誌をカラー印刷とし写真が多い紙面構成となったのが一番大きい変化かなと思います。委員会の皆様に支えられ楽しい4年間の委員会活動を送れました事に感謝いたします。ありがとうございました。



#### 第5代委員長（令和2年度～令和3年度）村越のぞみ

祝！『建築士 こおりやま』第70号の発行！

県本部の女性委員長を拝命するにあたり現委員長の今泉氏に引き継いでから、あっと言う間に3年の月日が経ってしまいました。

その間、女性委員長の充て職として県本部の会員広報・講習委員会にも参加し、郡山支部での活動経験をおおいに発揮する事ができました。

近年は自分達の老眼にかこつけて文字サイズを大きくしたり、写真を増やしたり、年間行事全ての記事を載せたりと、自分達なりに地味チェンジを繰り返しており、年間行事をまとめる事で新たな発見もありました。（意外と毎月活動してる！笑）

今後も記憶だけでなく、記録に残すこの活動を大切にしていければと思います。ありがとうございました。



## 第6代委員長（令和4年度～） 今泉 雄二

気が付くと広報委員になり早17年が過ぎました。当時は「私が建築士を目指した理由」の原稿を書きただけの方を探すのに大変苦労しました。

第4代立田委員長の時から副委員長になり、郡山支部のHP開設に向けて委員長のサポートをしていたと思っていましたが、実際は当時副委員長の村越さんにほぼお任せだったように思えます。第5代村越委員長の時も副委員長として活動しましたが、相変わらず委員長にお任せでした。

令和4年度から私が第6代委員長に就任しました。当時は委員長の自覚がなく支部総会の前に行われる聖徳太子祭礼の出席を忘れていた記憶が残っています。

広報委員で会議する時間をなかなか作れず、年2回発行の広報誌が年間の活動報告と題しページを増やして年1回年度末に発行となりました。

これからも歴代の委員長の名を汚さぬように務めてまいりたいと思います。

## 第13回 東北ブロック青年大会 やまがた大会

<青年委員会> 令和6年3月30日(土) 山形県郷土館「文翔館」

### テーマ：「建築」の原点を見つめる

かねてから訪れてみたかった「文翔館」での大会を経験できるとあって、期待に胸を膨らませて山形の地に降り立った。

東北ブロック全体で来賓16名、会員111名（出席名簿上）が参加。普段無料で一般公開されている施設の議場ホールを貸し切っている為、大会中も2階部分に設置されたホールの半円窓から一般の見学者が内部を覗いたり写真を撮ったりしていた。

各県の地域実践活動発表では、学校への出張講座や地域イベントへの継続参加、インスペクション、当支部でも継続開催している「お菓子の家づくり」など、様々な取り組みが紹介された。福島県からは猪苗代支部の「マンガで伝える地球の森と未来」の発表があり、代表



会場前にて

選考投票で見事1位を獲得。全国大会鹿児島大会時に開催される青年委員会のセッションへの切符を手にした。

大会イベントの「妖怪を見た男～近代建築界の巨人 伊東忠太の世界」上映×トークセッションでは、東北芸術工科大学の志村直愛教授と「伊東忠太の会」庄司勉副代表のアツいトークが繰り広げられた。（編集N）



議場ホール

## 吉田薬局見学会

<支部執行部> 令和6年4月7日(日) 郡山市本町

郡山市中心市街地にある吉田薬局が解体されるにあたり、オーナーさんのご厚意で見学させていただきました。

参加者17名が、地元の設計士である高梨幸平太氏の設計で建てられた築90年という長い歴史ある建築物を思い思いに見学しました。

(編集M)



アールデコ調のファサードにて

## 支部理事会

<支部執行部> 令和6年4月17日(水) ホテルバーデン

理事44名中26名の出席で議案の審議が行われました。

その他事項として、会員減少に伴う運営について話が出ました。

会終了後、昼食をとり解散となりました。(編集J)

## 第74回 支部通常総会

<支部執行部> 令和6年5月10日(金) 郡山ビューホテルアネックス

会員236名中、45名の出席で開催されました。

事業・決算報告、事業計画・予算が承認され、第3号議案の規約改正に関する件として、第1章総則の第4条(部会)の削除が承認されました。

また、本誌2頁の通り、役員改選が行なわれました。

(編集J)



新役員を囲んで

## 第74回 本部通常総会

<本部執行部> 令和6年6月14日(金) 玉川村 たまかわ文化体育館アリーナ

郡山支部からは20名の参加でした。

会長挨拶に始まり、事業・決算報告、今年度の計画の発表が行われました。今年度は役員改選もあり、郡山支部からは蔭山支部長・幕田副支部長・宗像副支部長が本部理事に選出されました。

また、『ふくしま住宅建築賞』のシンポジウムも行われ、素敵な作品に触れることができました。(編集M)



本部総会



シンポジウム

# 郡山市地域おこし協力隊事業協力(お菓子の家づくり)

<青年委員会/女性委員会> 令和6年7月14日(日) 郡山市中央公民館

『こおりやまサマーナイトマルシェ2024』に、建築士会郡山支部として参画し、小学生の親子を対象にお菓子の家づくりを行いました。

15:00から1回目7組、17:30から2回目7組、合計14組の親子に参加いただき、最後に『お菓子の家建築士免許証明書』を交付し、終了しました。(編集M)



完了検査の様子

## 第33回全国女性建築士連絡協議会 (東京)

<女性委員会> 令和6年7月14日(日)~15日(月祝) 東京都「日本建築学会建築会館」

### テーマ：未来へつなぐ「まち・ひと・建築」

#### ～インクルーシブな社会を目指して～



配信画面がスクリーンに投影されるメイン会場

今回はあいにく郡山市の『サマーナイトマルシェ』へのお菓子の家づくり参加と日程が重なってしまい、郡山支部からの参加はリアル1名、Zoom1名となった。

被災地報告は1月1日に発生した能登半島地震をうけて、北陸4県による発表があった。

基調講演は、パブリックトイレについてのテーマで、TOTOと日建設計の方がそれぞれ発表され、事例の紹介なども多くなされた。特にTOTOは講演のZoom配信許可は下りたが録画は禁止。連合会ホームページへの動画掲載もなく、コロナ以降の全建女プログラムの中では唯一、当日の参加者のみが聞けると言う貴重な内容となった。



分科会の様子

2日目の分科会では、室内防災対策についての分科会に参加した。

近年、全国で地震が増えている印象があるが、それを裏付けるように会場参加者も多く、関心の高さがうかがえ、皆真剣に聞き入っていた。

家具の転倒防止対策はもちろんだが、仲間を募って一緒に勉強し、周りの人達に啓蒙活動を続けて行く事の大切さをあらためて思い知らされたような気がした大会だった。(編集N)

# 「建築士の日」全県一斉建築相談会

<支部執行部> 令和6年6月29日(土) 郡山市ビッグアイMOLTI 2階

7月1日は『建築士の日』です。県内の各支部で一斉に建築相談会を開催しました。

昨年より多くの相談者が来てくださいました。(編集M)



遠藤会長と共にスタンバイ

## 理工系女子支援事業協力（お菓子の家づくり）

<青年委員会/女性委員会> 令和6年8月4日(日) 郡山市役所 正庁

### 『目指せ！理工系女子 思い描こう！私の未来!!』

郡山市からの協力要請により、青年、女性委員会の合同事業として会員13名が講師・スタッフとして参加しました。

本イベントは、内閣府男女共同参画局の「理工系チャレンジ」関連事業であり、2016年より郡山市市民部男女共同参画課の主催で、女子児童・生徒が理工系分野の楽しさを感じ、理工系の職業を目指すきっかけになってもらおうと市が企画しました。

そこで郡山支部として、～お菓子の家づくりをとおして、建築士の仕事を学んでみよう～をテーマに、2部構成で、講話「わたしが建築士になるまで」と、体験教室「お菓子の家づくり」を行いました。

当日は郡山市内の小学5、6年生、中学生と保護者の40組85名が参加しました。定員を上回る多くの申込があったとの事です。会場入口前には、建築士会のPRパネルを展示し、保護者の方も興味深く見て下さっていました。また、開催の様子を品川萬里市長が視察されました。

第1部の講話では女性委員会の4名が講師として登壇し、建築士の資格を取得するまでの課程や、それぞれの経緯や仕事のやりがい、女性建築士ならではのエピソードなどを紹介しました。

第2部の体験教室「お菓子の家づくり」では、過去最多の参加人数にも関わらず、2019年から定期開催しているおかげで経験豊富な会員が多く、動きがとても良くスムーズに進める事ができました。

子ども達は、申請用紙に作りたい家をイメージした絵を描いて設計図を仕上げ、役所係の建築士に建築確認申請を提出。「確認」の印をもらったら、各テーブルをまわっている建築士からアドバイスを受けながら、溶かしたホワイトチョコレートでビスケットやマーブルチョコレートなどを接着し、自分の描いた設計図を参考にオリジナルの家を制作。

夏場とあって溶かしたホワイトチョコレートの乾きが遅く、保護者の方がうちわで一先懸命仰いで協力している姿がとても印象的でした。完



集合写真



PRパネル



幕田副支部長の挨拶



第1部 講話



第2部 手順の説明



第2部 役所係



第2部 製作の様子

成後は、役所担当者に声がけし完了検査を受けます。

検査に合格すると『お菓子の家建築士免許証明書』が渡されます。会場のあちこちで達成感に満ちた子ども達の笑顔が溢れ、私達まで嬉しくなりました。

今回、郡山支部として郡山市から協力要請を頂き事業ができた事はとても喜ばしく、また、このような取り組みを通して、参加された親子が将来の夢を語り合うきっかけとなったり、つくることの楽しみや喜びを体験したことで、建築の仕事に興味を持って下さり、将来の郡山市のまちづくりを担うような人材が生まれるきっかけとなったら…と期待が膨らみます。(編集J)



竣工写真



竣工写真

## 福島県 違反建築パトロール協力

<支部執行部> 令和6年10月15日(火) 郡山市内各所

毎年“福島県違反建築防止週間”に合わせて郡山市が行う公開建築パトロール。

令和6年度の違反建築防止週間時期は10月15日(火)～10月21日(月)でした。

本年度も郡山市の要請を請けて青年委員会より会員2名が都市構想部開発建築指導課職員の方々と共にパトロールを実施しました。(編集Y)



出発式にて



パトロールの様子



令和6年度の青年委員会、女性委員会のつどいは『第1回 福島県建築士のつどい』として合同開催され、『第39回青年の集い』と『第35回女性建築士のつどい』が共催となった。

各支部の活動報告では青年、女性合同で活動している「お菓子の家づくり」を発表。令和7年3月に秋田県秋田市で開催される『東北ブロック青年大会あきた大会』における福島県代表の切符を手にした。(編集N)

## 令和6年度東北ブロック会女性委員会 秋田見学会

<女性委員会> 令和6年10月5日(土)~6日(日) 秋田県「国際教養大学」他

令和4年度の全国大会あきた大会の際、予想を超える申込が全国から殺到し、やむなく東北・北海道ブロックのセッション参加希望者を断わった「ブックコロセウム」、国際教養大学図書館の見学会が実現し、図書館の他にも食堂や学生寮の外観を見学する事ができた。

郡山支部からは3名の参加で幸い天候にも恵まれ、訪れたダリア園では一面に咲き誇る花が牡丹並みに大きく、花屋に並んでいる小ぶりな花しか見た事がなかった私は思わず感嘆の声をあげてしまった。

見学会では他にもさんねむ温泉、白瀬南極探検隊記念館、道の駅など、盛り沢山のスケジュールを満喫し、他県の方々とも交流を深めた。(編集N)



国際教養大学にて



ダリア園にて



白瀬南極探検隊記念館にて

## 支部親善ゴルフ大会

<会員拡大・交流委員会> 令和6年11月12日(火) 矢吹ゴルフ倶楽部



スタート前の集合写真

郡山支部 親善ゴルフ大会は気温15℃晴れの中、参加者13名で開催されました。

結果は優勝 光本 明充さん、準優勝 添野 祐平さん、3位 鈴木 功一さんでした。

今回参加された皆様お疲れさまでした。令和7年度は例年以上の参加人数になることを期待したいと思います。(編集Y)

# 支部研修旅行（第66回 建築士会全国大会）

<会員拡大・交流委員会> 令和6年10月25日(金)～27日(日) 鹿児島県「宝山ホール」他

## 薩摩の国へ

金田 岩光

令和6年10月25日から27日まで、第66回建築士会全国大会鹿児島大会へ、支部研修旅行を兼ねて参加した。

毎年、建築士会全国大会へ赴くために前年からスケジュールを調整する必要があるため、今回も参加できたことに、関係者皆様へ感謝の念に堪えません。

さて、初日、午前8時5分発の福島空港より鹿児島空港まで約3時間半の道のりを経て、鹿児島に降り立ちました。余裕のある貸し切りバスにて全国大会会場である宝山ホールへ差し掛かると、巨大な西郷隆盛翁の銅像がお出迎えしていただき、いざ全国大会参加へ。

鹿児島大会に参加している最中、「次年度の大阪大会へは、どのような企画を」と話をしながら、無事式典を終えました。

建築士会全国大会から、支部の研修旅行へと移行して迎えた2日目、前日の指宿名物の砂風呂を体験の思い出の中、日本最南端駅である西大山駅へ。ギリギリ西大山駅発の列車を見送ることができたのは、現地バス運転手に感心するばかりであった。建築士としての活動以外に、自衛隊協力団体の理事を務めている私にとって、この研修旅行で知覧特攻平和会館が行程に入っていたことは、心から感謝でもありました。2023年12月に公開された福原遥・水上恒司主演の「あの花が咲く丘で君とまた会えたら」を直前に鑑賞して涙をした思いを胸に、記念館へ。残念ながら内部の写真撮影には制限があって、撮影でき



なかったが、特攻へと赴く隊員たちの遺書や遺品を見ながら、涙があふれ、あの戦争を経て今の日本があることを重く受け止め、記念館を出ると振り返って深々と一礼をし、記念館をあとにしました。続いては、建築士会郡山支部研修旅行のメインである鹿児島大学稲盛記念館と稲盛会館へと赴く。鹿児島大学卒業生の故稲盛和夫氏(京セラ株式会社名誉会長)が「科学技術を中心とした知的交流を促進するための場」として寄贈した建物。1994(平成6)年に竣工し、設計は安藤忠雄建築研究所で、施工は銭高組と小牧建設。鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階地上3階建て、半径27.9mの円の4分の1に相当する扇形平面を立ち上げた立方体の内部に卵型のホールを包含している。さすが、建築士の集団。施工方法や、納まり等、技術的な会話が飛び交う。

続いては、仙巖園御殿を見学。1658年に建てられ、建て直しや増改築され、今の姿となっている。釘隠しの彫金細工が素晴らしく、軒先から望む作庭と桜島を眺めると息をのむほどでありました。一休みにカフェで、鹿児島名物のしろくまを食し、さらに癒されてきました。

最終日には、かごしま環境未来館、霧島アートの森、霧島神社と観光を終え、帰路につきました。

建築士会郡山支部の研修旅行は、大いに研鑽し、技術情報交換できるだけではなく、楽しく、笑いすぎで、顎とお腹が筋肉痛になるほど(笑)です。次年度は大阪大会です。結びに、研修旅行を企画、そして参加した皆様への感謝と次年度また一緒にできることを祈念して、駄文ではありましたが、紀行文を閉じさせていただきます。ありがとうございました。



## 支部忘年会

<総務・企画委員会> 令和6年12月3日(火) 郡山ビューホテルアネックス

郡山ビューホテルアネックスにおいて令和6年度の忘年会が開催され、来賓の衆議院議員 根本拓様と郡山市長 品川萬里様から挨拶を頂き、各テーブルにて参加者との意見交換が行われた。(編集Y)

# 支部研修会（畳工場見学&ワークショップ）

<講習・まちづくり委員会/女性委員会> 令和6年11月23日(土) TATAMI VILLAGE 久保木畳店



畳店外観



ショップ



宗像副支部長の挨拶

“日本文化の代表である「畳」が少なくなっている近年、「畳」に触れて畳の良さを再認識してもらいたい”という想いから、会員と会員のご家族を対象に開催されました。3歳から11歳のお子様6名を含む24名が参加しました。家族での参加行事の開催は初めての試み。

今回ご協力いただきました(有)久保木畳店は、1740年須賀川市にて創業、280年以上の地域に根付いた老舗畳店です。畳文化を発信し世界中から来ていただける施設を目指して本社工場を改修し、令和5年4月に畳の体験型複合施設として開業した鉄骨造一部2階建ての建物です。

入口正面には畳と縁（へり）を素材にしたバッグやコースター、名刺入れなどの畳小物商品が手に取りやすく整然と配置されたショップが広がっており、右側には畳について学べる展示と実物大の畳敷のお部屋などガラス越しに見学できるよう工夫されたレイアウトです。入口右手には、軽食を楽しめる天井吹抜の大空間のカフェが併設されています。

奥の畳工場に入ると、室内は蘭草の香りが漂う整理整頓された大空間が広がっていました。

15代目代表取締役 久保木史朗様の「使命は畳を後世に残すこと、夢は畳を世界へ広めること」をモットーに一枚の畳コースターPRからスタートして年間1万人以上のワーク



久保木社長

ショップ、職業体験、世界21か国、150件を超える輸出が実現するまで4年間奮闘した熱い想いのお話はとても興味深く、皆さんワクワクしながら聞き入っていました。蘭草については、毎年収穫時期に産地に通り素材を厳選し直接仕入れにより中間コストを削減。実際手に触れ一般的に流通している蘭草との違いを体感させていただきました。

スタッフの方からは畳縁（へり）の色・模様の違いによる格付けの説明をクイズ形式で学びました。縁の模様にもウルトラマンやカネゴンを探すクイズは、お子様も真剣に探し「あった!!」と大声で答えていました。

学びの後は、畳コースターづくりを体験しました。まず、好きな畳の色と、色・柄の異なる縁を選び準備完了。説明と注意点を聞きながら、楽しく作業を進め、世界で一つだけのオリジナル畳コースターを完成させて作品を見せあい、苦労した点など話あったり、テーブル毎、コースターを手に記念撮影をしました。



蘭草説明



畳縁クイズ



コースター作り



コースター作り



完成品を手に



カフェ小上り

作業後は、皆でカフェに移動。一部置敷の小上りとなっている空間には小ぶりの丸テーブルで軽食を楽しむご家族の姿や、壁に置かれたクッションを背もたれに読書したり、畳に寝転んだり、小上に腰を下ろしテーブルを囲み軽食と会話を楽しんだり、各々が自由に、まるで我が家でゆったりとくつろいだ時間を過ごしているかのような光景がとても印象的でした。

終始、蘭草の香りと畳の空間の中で居心地の良い癒しの時間を過ごすことができ、参加者全員「畳」に触れて畳の良さを再認識できた、とても充実したワークショップとなりました。今回、企画運営いただいた皆さんと、準備・説明・サポート等々して下さった久保木畳店の皆様に対し、この場をお借りし感謝申し上げます。

追伸、“福島県建築士会郡山支部HP”の掲載記事も是非ご覧ください。(編集J)

## お菓子の家づくり (支部継続事業)

<青年委員会/女性委員会> 令和6年12月21日(土) 安積総合学習センター



完成現場

毎年恒例の人気のワークショップ、『お菓子の家づくり』を青年委員会と女性委員会で行いました。今年は、25組69名(子ども38名、大人31名)の親子にご参加いただきました。

実際の業務のように、設計図を描き、役所担当から確認済の印をもらい、実際に施工(お菓子の組み立て)を行い、完成したら完了検査を受けます。

最後に『お菓子の家建築士免許証明書』を交付され、晴れて『お菓子の家建築士』です!

マシュマロを雪に見立てたり、チョコの棒を煙突にしたり、参加してくれた子どもたちの発想力は無限で豊かでとても素敵で、お父さんお母さんと話し合い、悩み、作り進めていく姿はとても楽しそうなものでした。お菓子の家が完成した時の子どもたちの顔はとても達成感に溢れており、開催してよかったと肌で実感できました。

今年は、7月と8月に1回ずつと今回のお菓子の家づくりのイベント、計3回開催しました。ありがたいことに、お知らせと同時に予約が入り、満員御礼の大盛況で終えることができました。

お菓子の家づくりのイベントを通して、将来建築士になりたい・建築関係の仕事に就きたい、と思ってもらえたらうれしい限りです。(編集M)



集合写真

## 賛助会員名簿

No	会社名	住所	電話番号	ファックス
1	(株)石田工業所	郡山市愛宕町3-5	024-932-1550	024-923-6472
2	元旦ビューティ工業(株) 福島営業所	本宮市荒井字諸子沢50	0243-36-1616	0243-36-1620
3	(株)建築資料研究社 日建学院 郡山校	郡山市松木町2-88 イオンタウンE棟2階	024-941-1111	024-941-1122
4	光和建材(株)	郡山市日和田町字原12-20	024-958-2470	024-958-2462
5	ジャパンパイル(株) 東北支店南東北営業所	郡山市虎丸町6-16 NK第2ビル5F C	024-931-4191	024-931-4113
6	(株)総合資格	郡山市虎丸町24-8 AIG郡山ビル1階	024-921-0041	024-921-0191
7	高柳電設工業(株)	郡山市開成6-120	024-922-1480	024-922-2427
8	東北ポール(株) 郡山営業所	郡山市桑野1-15-3 MY第一ビル	024-922-0062	024-933-6811
9	(有)福島基礎	郡山市道場51-8	024-943-3700	024-943-1321
10	前田製管(株) 福島支店	郡山市日和田町高倉字杉下26-2	024-958-3236	024-958-3207
11	メタルファンテック(株)	郡山市安積北井1-47	024-937-2113	024-947-1830

各賛助会員のホームページは、支部のホームページにリンクがあります。



### 編集後記

第70号発行記念とし四半世紀に渡る歴史を振り返る特集号となりました。

モノクロ印刷からカラー印刷へ、また年2回発行から年1回発行となり、令和6年からのHPリニューアルによるタイムリーな活動報告の発信と共に、建築士会の活動の意義や楽しさを会員そして入会を考えている方、これから建築士を目指す方も含め、より多くの方に知っていただく事で会員の拡大に繋がる一助となれば幸いです。

ご寄稿下さいました皆様、誠に有難うございました。

## 福島県建築士会郡山支部

郡山市大町一丁目2番23号KIK'ビルW22(西2階)  
TEL & FAX 024-935-2151

URL : <http://kenchikushi-koriyama.com/>  
Mail : [info@kenchikushi-koriyama.com](mailto:info@kenchikushi-koriyama.com)

### 福島県建築士会郡山支部ウェブサイト・SNSのご案内

公式ウェブサイト



<https://kenchikushi-koriyama.com/>

Facebookページ



<https://www.facebook.com/kenchikushikoriyama>

Instagram



<https://www.instagram.com/kenchikushikai/>